



津奈木町教育長  
しおやま かずゆき  
塩山 一之

# 津奈木町の宝である 子どもたちを時代の 流れに乗せたい

現在、全国でICT教育が展開し始めています。県内では、高森町や山江村の小・中学校が先進的にICT教育を行っており、数値的にも学力向上が示され認められてきています。本町もこのICT機器を活用し

## 全国的に広がるICT教育

全国的に広がるICT教育。現在、全国でICT教育が展開し始めています。県内では、高森町や山江村の小・中学校が先進的にICT教育を行っており、数値的にも学力向上が示され認められてきています。本町もこのICT機器を活用し

**進む情報化社会  
変化する町の教育**  
現代の社会はグローバル化、情報化が進み、パソコンが当たり前の時代になりました。以前はワープロなどを使っており、時代と共にたくさんの教育機器も開発されてきました。子どもたちが現在の情報化や国際化の流れに適応し社会へと出ていくためには、知識だけでなく新たな機器を上手く活用できる力を身につけなければなりません。あとは、機器を使って得た情報をどう選択し活用するか、情報のモラルにのっとりた判断力が必要です。二ユー



# -津奈木町教育改革 (ICT教育)- 町の教育現場の～今～

ICT教育とは…ICT機器（タブレット型パソコン・電子黒板・実物投影機・デジタル教科書等）を活用して、学習意欲を深め情報活用能力を育成し、教育の質を向上させることにより、学力向上へと結びつける。

今回のICT機器の導入のように教育の方法は、これからもどんどん移り変わっていきます。しかし、立派な大人になるための人格形成という教育の目的は昔から変わりません。情報化社会に慣れさせながら、子どもたちの人間的な部分（心・感性）の教育、読む、書く、考えるそういった能力もじっくりつけてもらいたいです。

津奈木町を担う大人へと成長してもらいたいとの思いは、財政的な裏付けをしている町の強い思いでもあると思っています。おかげ様で本町の子どもたちは、多方面で頑張ってくれています。

**変わらない教育の目的**  
今回のICT機器の導入のように教育の方法は、これからもどんどん移り変わっていきます。しかし、立派な大人になるための人格形成という教育の目的は昔から変わりません。情報化社会に慣れさせながら、子どもたちの人間的な部分（心・感性）の教育、読む、書く、考えるそういった能力もじっくりつけてもらいたいです。

**学力向上も期待される「ICT教育」**  
平成25年度全国学力学習状況調査では、全国と熊本県、全国でトップの秋田県の平均正答率と県内のICT教育実践校の国語・算数の平均正答率を比べています。いずれの教科もICT教育実践校が平均正答率を上回っていることがわかります。また県内のICT教育実践校の学力調査結果（平成22・23・24年）を見てみると年々学力が向上しているのがわかります。中でも、算数の「関心」、「考え」、「国語の「読む」が飛躍的に向上しています。

**平成26年2学期から始まった「教育改革」**  
今年9月から本格的に始まったICT（情報通信技術）教育。タブレット型パソコンが平国小学校に9台、津奈木小・中学校に40台ずつ、電子黒板が津奈木小・中学校に3台ずつ配備されました。また、校内どこでもICT機器が使用できるよう無線LANの環境整備も実施しました。ICTと教育を結びつけ、教師と生徒の間でのコミュニケーションや生徒同士での学習内容の共有などがより簡単に行われるようになり、授業内容の幅も広がります。

### 《導入機器》



電子黒板

教育ソフトや動画を映すことが可能。画面に書き込むこともでき、タブレットパソコンや実物投影機で表示したものを映すこともできる。



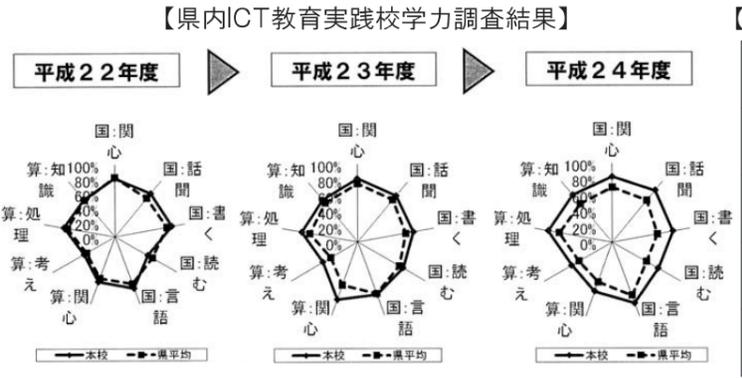
タブレット型パソコン

キーボードから取り外しタブレットにすることも可能。写真、動画撮影機能付き。



実物投影機

教材を電子黒板などに大きく映すことが可能。細かい作業の説明にも使える。



【平成25年度全国学力学習状況調査】（平均正答率）

	国語A	国語B	算数A	算数B
全国	62.7	49.4	77.2	58.4
熊本県	64.0	48.1	78.5	58.6
秋田県	71.7	59.1	82.8	67.1
県内実践校	83.2	62.4	92.5	81.4